

平成23年度 事業経過報告書

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

平成23年度事業経過報告

I. ライセンス会員の登録状況

1. ライセンス会員数（期間：平成22年10月1日～平成24年3月31日）

- 1) 競技会員のライセンス取得者数は**16,515名**（昨年17,227名）で前年対比**96%**、ライセンス発行枚数も**24,410枚**（昨年25,792枚）で**95%**と減少。
- 2) エンジョイ会員は**3,173名**（平成23年4月～平成24年3月）昨年度は3,811名（平成23年1月～10月）で**83%**と大幅に減少した。

※震災後想定した競技ライセンス数15,200名は上回ったが減少傾向は変わらず。

2. 各種目のライセンス発行枚数

① ロードレース **6,402枚**（昨年**6,972枚**）前年対比**92%**

地方選手権衰退で国内、フレッシュマンが大幅に減少。

種目	区分	10年度	11年度	対比
ロードレース	国際	851	808	95%
	国内	3982	3708	93%
	フレッシュマン	2054	1794	87%
	ジュニア	85	92	108%
	計	6972	6402	92%

② モトクロス **2,210枚**（昨年**2,261枚**）前年対比**98%**

種目	区分	10年度	11年度	対比
モトクロス	国際A級	158	165	104%
	国際B級	468	462	99%
	国内A級	256	278	108%
	国内B級	719	693	96%
	ジュニア	565	523	93%
	PC	95	89	94%
	計	2261	2210	98%

③ トライアル **1,521枚**（昨年**1,527枚**）前年対比**100%**

堅調であるが高齢化も顕著。

種目	区分	10年度	11年度	対比
トライアル	国際A級	139	133	96%
	国際B級	374	358	96%
	国内A級	380	405	107%
	国内B級	625	613	98%
	ジュニア	9	12	133%
	計	1527	1521	100%

④ スノーモビル 271 枚（前年 255 枚）前年対比 106%

種目	区分	10 年度	11 年度	対比
スノーモビル	A 級	8	92	106%
		7		
	B 級	1	152	106%
		43		
ジュニア		2	27	108%
		5		
計		2	271	106%
		55		

⑤ ダートトラック 60 枚（前年 51 枚）前年対比 118%

種目	10 年度	11 年度	対比
ダートトラック	51	60	118%

⑥ スーパーモタード 408 枚（前年 449 枚）前年対比 91%

種目	区分	10 年度	11 年度	対比
スーパーモタード	A 級	248	236	95%
	B 級	201	172	86%
	計	449	408	91%

⑦ エンデューロ 223 枚（前年 136 枚）前年対比 164%

種目	区分	10 年度	11 年度	対比
エンデューロ	国際	54	64	119%
	国内	82	159	194%
	計	136	223	164%

⑧ ピットクルー 7,706 枚（前年 8,318 枚）前年対比 93%

種目	10 年度	11 年度	対比
ピットクルー	8,318	7,706	93%

⑨ 競技役員 5,609 名（前年 5,823 名）前年対比 96%

種目	10 年度	11 年度	対比
役員・講師	5823	5609	96%

3. 賛助会員

賛助会員の加入推進活動を強化し、58 社（昨年 57 社）で件数、口数ともに微増した。

II. モーターサイクルスポーツ事業

1) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

- 平成 23 年 1 月～3 月まで全国で 504 大会（昨年 593 大会）が開催された。震災影響、スポーツ安全保険移行による承認競技の主催者離脱等で大幅減少。

加盟団体	公認競技会										承認競技会										合計	中止	開催数		
	R	M	T	S	SM	DR	ED	講習会	走行会	小計	R	M	MX	T	S	S	D	E	S	行事				小計	
北海道	4	13	7	3	0	0	2	13	0	42	1	7	1	0	2	0	8	0	0	0	19	61	2	59	
東北	6	11	16	1	2	0	5	7	1	49	2	9	11	2	0	0	0	0	0	0	24	73	12	62	
関東	12	24	22	2	5	0	2	30	4	101	8	7	0	4	2	0	1	0	5	5	32	133	18	118	
中部	8	10	14	0	1	0	0	24	3	60	6	6	0	7	0	0	0	0	0	0	19	79	6	73	
近畿	0	10	11	0	5	0	0	13	1	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	41	6	36	
中国	6	10	21	0	6	0	0	13	1	57	3	10	8	1	0	0	10	0	0	2	34	91	5	84	
四国	0	8	8	0	1	0	0	7	0	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	3	20	
九州	7	7	9	0	8	0	1	29	1	62	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	62	8	56	
合計	43	93	108	6	28	0	10	136	11	435	20	39	20	15	4	0	19	0	5	7	129	564	60	504	
※上記はMFJ主催アカデミー、サーキット講習会41大会除く																									
前年	44	97	119	5	31	0	4	146	16	462	19	40	22	25	8	0	37	0	6	5	162	624	31	593	

3) 競技会開催状況

(1) ロードレース

① 世界選手権/特別競技会

格式	開催日	大会名	観客数	
			11年	10年
世界選手権	7月28日～31日	ココロ・ゼロ 鈴鹿 8時間耐久ロードレース	106,000	107,000
	10月1日～3日	MotoGP 日本グランプリ	53,212	64,843

② 全日本選手権

- ・ 震災影響で日程が変更され以下のように開催された。
- ・ 文部科学大臣杯は秋吉耕祐選手(JSB1000チャンピオン)が獲得した。

	開催日	会場	観客数	JSB	GP2	ST600	GP3	GP-M	計
第1戦	5月12日	鈴鹿 2&4	34,500	48					48
第2戦	6月2日	オートポリス 2&4	22,500			50			50
第3戦	7月3日	もてぎ	16,000	28	18	42	32	30	150
第4戦	8月7日	もてぎ 2&4	16,500		18				18
第5戦	8月28日	SUGO	8,150	21	18	49	33	32	153
第6戦	9月11日	オートポリス	19,150	25	13		29	34	101
第7戦	10月9日	岡山国際	9,500	34	18	52	37	34	175
第8戦	10月30日	MFJ-GP 鈴鹿	21,000	29	18	39	34	36	156
		合計	146,946	185	103	232	165	166	851
		1大会平均	18,368	31	17	46	33	33	106
		前年対比	96%	106%	215%	102%	107%	133%	86%

③地方選手権（ナショナル・インター）・承認ロード競技会

◎ロードレース地方選手権・承認競技会

施設	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加台数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	4	139	35	86%	5	169	34	77%
SUGO	5	194	39	73%	4	294	74	90%
筑波	3	588	196	99%	11	1,300	118	91%
もてぎ	2	357	119	76%	5	581	116	193%
鈴鹿	5	673	112	70%	9	1358	151	47%
岡山	4	338	68	28%	6	641	107	94%
九州	5	343	69	130%	3	119	40	65%
2011 合計	28	2632	94		43	4462	104	
2010 合計	35	3803	109		39	5252	134	
前年比	80%	69%	86%		110%	85%	78%	

◎承認ミニバイクレース

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	8	259	32	
東北	14	425	30	59%
関東	7	1127	161	88%
中部	5	318	64	98%
近畿	0	0	0	
中国	12	920	77	94%
四国	0	0	0	
九州	0	0	0	
2011 合計	46	3049	66	
2010 合計	47	4712	100	
前年比	98%	65%	66%	

(2) モトクロス

① 全日本選手権 ※震災影響で日程が変更された。

場所	観客数	台数	国際B級		国際A級		レディース	チャイルド*	J85	他
			IB2	Open	IA-1	IA-2				
中国	9,800	323	79	81	29	47	42	16	29	
近畿	9,800	324	75	75	26	48	43	12	35	10
北海道	4,500	225	52	51	24	40	25	9	15	9
東北(藤沢)	6,500	261	76	75	25	42	36	7		
東北(SUGO)	7,650	304	88	86	27	42	47	14		
近畿	8,092	352	87	85	29	44	48	19	40	
中国	7,500	314	73	73	27	44	43	24	30	
MFJGP	5,270	338	87	83	30	46	49		20	
九州	5,500	227	47	46	26	43	29	15	21	
関東	12,000	352	90	90	31	48	49	21	23	
合計	76,612	3,020	754	745	274	444	411	151	222	
平均	7,661	302	75	75	27	44	41	15	28	
対比	74%	102%	115%	119%	113%	98%	98%	94%	93%	

モトクロス全国大会：8月6日（土）に震災影響で日程変更となった全日本モトクロス SUGO 大会と併催で東北地区のスポーツランド SUGO にて実施し 227 台が参加した。

② 地方競技会

	大会数	総参加台数	平均台数	前年比
地方選手権	67(68)	9078(9898)	149(146)	102%
県大会	26(28)	1612(1509)	62(56)	111%
Total	93(96)	10690(11407)	115(119)	96%

(3) トライアル

① 世界選手権

格式	開催日	大会名	観客数	
			11年	10年
世界選手権	8/20-21	トライアル世界選手権日本GP	7,500	12,000

② 全日本選手権

震災影響にて 2 大会が中止となり全 5 戦で開催された。

	開催日	場所	観客数	台数	IB	IA	IA-S	他
第1戦	3月13日	関東	中止					
第2戦	4月17日	近畿	中止					
第3戦	5月15日	九州	1,650	83	45	29	9	
第4戦	8月7日	北海道	400	67	35	22	10	
第5戦	9月4日	中国	500	118	75	34	9	
第6戦	10月16日	中部	2,700	120	65	45	10	
第7戦	10月30日	東北	650	85	47	28	10	
		合計	5,900	473	267	158	48	
		1大会平均	1,180	95	53	32	10	
		前年対比	69%	87%	92%	88%	81%	

③ 地方選手権

	大会数	総参加台数	平均参加台数	前年比
地方選手権	64(73)	4,451(4445)	70(61)	114%
県大会	27(33)	805(990)	30(29)	103%
Total	91(106)	5,256(5435)	58(52)	112%

(4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	台数	B	SC	A	J	他
第1戦	苗場	1月29日	2,000	184	56	19	28	11	70
第2戦	長野	2月6日	1,500	100	48	18	24	10	
第3戦	わっさむ	2月13日	250	119	53	19	42	5	0
第4戦	士別	2月20日	300	131	59	21	44	7	0
第5戦	青森	2月27日	1,000	114	57	23	25	9	0
第6戦	ウイスユー	3月6日	400	134	58	20	44	12	0
年間合計(6戦)			5,450	782	331	120	207	54	4
1大会平均(6戦)			908	130	55	20	36	9	--
前年対比			74%	96%	91%	100%	81%	90%	

(5) スーパーモタード

① MOT01 オールスターズ

第1戦	開催日	場所	台数	moto1PRO	moto1OPEN	moto2	併催
第1戦	4月10日	美浜	中止				
第2戦	5月8日	琵琶湖	65	13	22	22	8
第3戦	6月5日	伊那	62	14	25	23	
第4戦	6月26日	エビス	70	11	15	17	27
第5戦	7月31日	タカタ	66	15	28	23	
第6戦	9月4日	SUGO	78	14	16	17	31
第7戦	9月25日	HSR	76	14	24	20	18
第8戦	10月30日	もてぎ	85	11	21	15	38
		合計	502	92	151	137	107
		平均	72	13	22	20	27
		対比	98%	92%	103%	106%	

②MOT01 エア (地方選手権) を下記7エアで開催。

エリア	大会数	総台数	平均
関東・東北エリア	6	338	56
中部・近畿エリア	4	71	18
中国・四国エリア	6	166	28
九州エリア	2	91	46
沖縄エリア	5	140	28
合計	23	806	35
前年	39	1087	39
前年対比	56%	74%	90%

(6) エンデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本	その他
第1戦	5/1	御所 <九州>		中止	
第2戦	6/11	爺ヶ岳<関東>	62	62	
第3戦	7/16-17	夕張<北海道>	66	40	26
第4戦	9/4	チースナツ<東北>	57	57	
第5戦	10/1-2	日高町<北海道>	80	42	38
第6戦	10/2-3	SUGO<東北>	131	74	57
		合計	396	275	121
		1大会平均	79	55	40
		前年対比	74%	119%	67%

4) 代表選手派遣事業

(1) モトクロス・オブ・ネーションズ (国別対抗世界選手権)

モトクロス委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- 開催日：9月17日～18日 開催国：フランス (Saint Jean d' Angely)
- 代表チーム (MX1 新井宏彰、MX2 三原拓也、MXOpen 熱田孝高) 順位：13位 (35か国中)

(2) トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

トライアル委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- 開催日：9月10日～11日 開催国イタリア (Tolmezzo)
- 代表チーム (藤波貴久、小川毅士、野本佳章、柴田暁) 順位6位 (22カ国)

(3) アジア・ネーションズ・オブ・ロードレーシング (アジア国別対抗戦)

女性ライダー2名を派遣した。

	開催日	開催国	参加国	順位	代表選手	
第1戦	8月22日	インド	7	7	岡崎静夏	片野 利沙
第2戦	8月29日	日本	10	5	片野利沙	白石玲奈
第3戦	10月10日	台湾	7	6	片野利沙	白石玲奈

(4) ISDE (国際6日間エンデューロ)

エンデューロ委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行ったが震災の影響もあり本年は出場せず。

5) 全日本選手権ランキング表彰式典

全日本ランキング表彰式典を平成23年12月18日(日)に東京・大手町の日経ホールにて開催した。

Ⅲ. 補助金事業

1) 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

・平成23年度ドーピングコントロール 交付申請額：3,333,613円

※交付確定額：1,485,000円

※今年度 JKA オートレース補助金申請は認められなかった。

Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

1) 普及強化事業

① MF J ロードレースアカデミー in Motegi

6期目アカデミーを下記のように開催した。

- ・主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・会場：栃木県・ツインリンクもてぎ 対象：12歳～18歳 受講者14名(昨年9名)
- ・期間：2011年4月～11月 車両：CBR150 NSR-mini 受講料：30万円

② MF J トライアルアカデミー

4期目を迎える標記アカデミーを下記のように開催した。参加枠を拡大し若干増加した。

- ・主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
- ・会場：茨城県・真壁トライアルランド
- ・対象：若手ライダー(9歳～20歳)・女性・入門者 アカデミー1クラス
国内B級～国際B級(年齢/性別制限なし) アカデミー2クラス
- ・受講者：17名(昨年15名)
内訳 アカデミー1クラス 7名 アカデミー2クラス 10名
(シェア1名・女性8名・男性8名)
- ・期間：2011年9月～2012年3月 車両：持ち込み 受講料：11万円

③ MF J レディースロードレース

レースを3回、講習会を3回開催予定であったが、震災にて3月の大会は中止。今年からスポーツランド SUGO でもヤマハ発動機より貸与いただいた車両にて開催。地域的な広がりが見られた。筑波では自己所有車両での参加が増加し、レースとして定着しつつあることが伺える。

- ・第1回：3月12日(日)筑波サーキット 申し込み25名(震災により中止)
- ・第2回：6月4日(土)筑波サーキット 出場22名(レンタル車2台)
- ・第3回：10月4日(土)筑波サーキット出場22台(レンタル車3台)
- ・スポーツランドSUGO 8月13日 12台

④ アジア国別対抗ロードレース

昨年に引き続き SUGO にて開催した。今年からヤマハ発動機より貸与された車両を使用

開催月日：2011年8月27日（土）28日（日）

開催場所：スポーツランド SUGO クラス：YZFR15 ワンメーカー

主催：（財）日本モーターサイクルスポーツ協会 協力：スポーツランド SUGO

参加国：タイ・シンガポール・フィリピン・台湾・日本・インドネシア・インド・韓国・NZ・スリランカ
<10カ国>18名

⑤ MFJ キッズバイク全国大会

ポケバイ・ミニバイク界との連携を目的に、筑波サーキットにて主催の同大会に三栄書房とともに協力し開催。

開催日：2011年12月4日（日） 開催場所：筑波サーキット（コース1000）

主催：日本オートスポーツセンター 協力：三栄書房・MFJ

参加台数：94台

2) 安全・環境・健康に関する活動

① レスキュー講習会

モータースポーツライセーシング機構（LSO）の加盟を継続したが、今年度は講習会の開催は休止した。

② インストラクター養成セミナー

ライダー養成にあたる人材育成を目的に、レース専門分野ならびに、大学の講師によるスポーツコーチング、熱中症予防等に関する講義を実施し参加者へ資格付与予定。

・2012年3月18日 会場：東京都・印刷会館 4受講者 40名

③ ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	8月28日	SUGO	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	10月23日	SUGO	MFJ事業	4
トライアル	全日本	10月16日	中部	MFJ事業	4

④ サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時に主に安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

⑤安全装備の研究

- ・環境整備委員会・競技用装備部会にて装着を義務付ける脊椎プロテクション・胸部プロテクションの製品基準を策定について検討中
- ・脊柱プロテクション・胸部プロテクションに加えてエアバック式プロテクションを装着することにより事故時のダメージ軽減を目指す方向で検討中。

3) 広報活動

- ①MFJの広報機関誌である月刊「ライティング」及び別冊MFJ国内競技規則書を年間累計**93,200冊**（昨年94,000冊）発行。機関誌とホームページの情報内容の仕分けを行い、年間4回の発行とした。ライセンス会員、特別会員、賛助会員、ネットワークショップ及び報道機関などに広く配布し、MFJ活動の広報に努めた。
- ②MFJオフィシャルホームページは5種目の全日本選手権の結果速報・レポート・写真を掲載し内容充実と速報性の向上を図るとともに、機関誌発行回数減に対応し新たに競技会カレンダー検索システムを公開した（毎月一回更新）。平成23年4月1日より平成24年3月31日までに**903,806件/月平均75,317件**のアクセスを得た。
- ③従来のFAXによるイベント情報配信を終了し、来年度に向けて、ネットワークショップおよびMFJ登録プレスへのメール情報配信システムをライセンスWeb申請システムとあわせ導入を予定し環境を整備中。
- ④ネットワークショップを中心に掲出するポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）を作成し、広く配布予定。
- ⑤プロモーション委員会において、全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。
 - ・CS放送スポーツ専門チャンネルGaoraにて全日本ロードレース並びにモトクロスを全戦放映を促進した。
 - ・全日本ロードレース選手権第3戦からインターネット映像配信サイトUSTREAMにて全戦ライブ配信し露出を拡大した。
 - ・ファン会員を募集し、194名が登録（昨年220名）
 - ・専用ホームページSuperbike.jpにて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※3月～11月の訪問者数**1,777,315件**（昨年**1,718,012件**）

V. 地方組織

1. 加盟団体会長・事務局長会議

加盟団体との情報共有の為、会長/事務局長会議を11月に開催した。

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟推進活動を行ったが、152店舗（昨年216店）と減少。

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り

支部	会員数				競技会申請数			全日本選手権						Nショップ	表彰式
	ライセンス	エンジョイ	合計		公認	承認	計	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
	枚数		枚数	人数											
北海道支部	928	248	1796	1161	42	11	53	0	1	1	3	0	2	5	最終戦時
東北支部	1,338	383	2861	1689	49	24	73	1	2	1	1	2	2	14	最終戦時
関東支部	6,102	1,406	11673	7378	101	32	133	2	1	0	2	2	1	53	○
中部支部	2,640	290	4581	2885	60	19	79	2	0	1	0	1	0	25	○
近畿支部	2,639	296	4659	2880	40	1	41	0	2	0	0	1	0	25	○
中国支部	1,090	450	2012	1503	55	32	87	1	2	1	0	1	0	12	○
四国支部	458	50	723	503	24	0	24	0	0	0	0	0	0	4	最終戦時
九州支部	1,320	50	2096	1338	62	0	67	2	1	1	0	1	0	10	○
	16,515	3064	30401	19337	433	127	560	8	10	5	6	8	6	152	

VI. 国際交流

世界におけるMFJの役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクリススポーツの活性化を推進した。

- 1) 6月 MotoGP 日本 GP 開催懸念に対する説明の為 FIM 本部へ会長、事務局員を派遣。
- 2) 7月 マレーシアへアジア RD 選手権プロモーターとの会合に事務局員を派遣。
- 3) 8月 アジア国別対抗ロードレース第1戦インド大会に日本チームを派遣。
- 4) 8月 アジア国別対抗ロードレースをスゴの SUGO の全日本選手権併催で開催
- 5) MotoGP 時に来日したポルトガル FIM 会長と日本メーカーを訪問。
- 6) 10月 アジア国別対抗ロードレース台湾大会に代表チームを派遣。
- 7) 12月 FIM ポルトガル総会/GALA レモネーに会長並びに事務局員を派遣。
- 8) 12月 タイで日本人ライダーを招聘し開催されるモトクロスに事務局員を派遣。
- 9) 2012年1月 シンガポールにて開催される F I M アジア総会に会長及び事務局員を派遣予定。
- 10) 2012年1月 FIM モーターサイクルインスペクションに同行
- 11) 2012年2月 ジュネーブで開催される F I M 会議セミナーに事務局員を派遣予定。
- 12) 2012年2月 台湾にて「MFJ ロードレースアカデミー」の名前で初めて開催するスクールに講師を派遣。

VII. スポーツ安全保険等

1. 本年度より競技者の受傷時の保険を（財）スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』に移行し、ライセンス申請時に掛金を徴収し、登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

1) スポーツ安全保険加入者数 （10月末現在）

以下件数の保険加入手続きを行った。

- ・ A1 区分（15 歳以下） 231 名
- ・ C 区分（16 歳以上） 14,884 名

2) 受傷者数

以下件数の事務手続きを行った。（事故通知 209 件、内 133 件は保険請求）

競技会種目	事故通知数			保険請求		
	加入区分		合計	加入区分		合計
	A1	C		A1	C	
ロードレース	4	49	53	2	29	31
ミニロード*		6	6		3	3
ミニバイク		11	11		5	5
モトクロス	4	64	64	4	42	46
ミニモトクロス	22	5	27	17	3	20
トライアル		19	19		13	13
エンデューロ		10	10		6	6
スノーモビル		1	1			0
スーパーモタード*		9	9		7	7
ダートトラック		2	2		1	1
他	3		3	1		1
合計	34	175	209	24	109	133

※ A1= 15 歳以下 C=16 歳以上 H23 年 11 月末現在

※ H22 年共済会時の申請件数 268 件(年間) H23 事故通知 209 件

2. スポーツ傷害基金の残務処理

昨年度まで適用していたスポーツ傷害基金（共済会）の見舞金支払いを行った。

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

種目	支払い件数	死亡	後遺症
ロードレース	7	0	3
ミニロード	0	0	0
ミニバイク	4	0	1
スーパーモーター	2	0	0
スーパーモーター小排気量	0	0	0
モトクロス	6	0	1
ミニモトクロス	0	0	0
トライアル	2	0	0
エンテューロ	1	0	0
ダートトラック	0	0	0
スノーモビル	1	0	0
RDスクール・走行会	0	0	0
走行会	1	0	0
ピットクルー	0	0	0
事前準備	1	0	0
体験走行・試乗会	0	0	0
	24	0	5

Ⅷ. 諸会議の開催（4月～12月）

委員会	2011 年										2012 年			回数
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月		
理事会	21		16			27				19		14	5	
評議員会	21		16			27				19		14	5	
運営・財務委員会			9			14				7		8	4	
加盟団体会長・事務局長								17					1	
スポーツ傷害基金		26											1	
中央審査委員会													0	
規律裁定委員会													0	
環境整備委員会													0	
中央スポーツ委員会									15				1	
プロモーション委員会	18			19				16			14		4	
技術委員会	19	31	28	26			11	22					6	
ロードレース委員会				25				15					2	
モトクロス委員会				21	30 作			29					3	
トライアル委員会								8					1	
スノーモビル委員会			30										1	
ドラッグレース委員会													0	
スーパーモーター部会								9					1	
エンテューロ部会				20				28					2	
タイヤ部会													0	
競技用装備部会													0	
回数	4	2	5	5	1	3	1	8	4				33	

Ⅸ. その他

1. 会員申請のWEB化

平成 24 年度より、会員登録申請並びに申請料の決済をWEB上で行えるシステムの構築を行い、予定通り 2012 年 2 月 1 日より稼動する。

2. 東日本大震災義援金活動

①MFJ ホームページにて義援金募集活動を行い、個人、主催者等から 355 万円 (H23,12 現在) の募金があり、日本赤十字社に寄附を行った。(内 MFJ は 50 万円寄附)

②「がんばろう日本」のステッカーを作成し全日本各カテゴリーのライダースに配布、また横断幕を作成し各大会で表示。

以上